

【第3学年及び第4学年 目標】		学習指導要領との関連					東京都小学校音楽教育研究会 多摩南ゾーン大会 公開授業 第4学年「組曲を楽しもう」 八王子市立散田小学校 主幹教諭 中川 眞理				
(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。		A 表現		B 鑑賞	【共通事項】						
学期	◎ 題材名 (時数) 主な教材 ○歌唱 ●器楽 □音楽づくり▷鑑賞 (共) 共通教材	題材の目標			(1) 歌唱	(2) 器楽	(3) 音楽づくり	題材の評価規準			
		(1) 知識及び技能の習得 (2) 思考力・判断力・表現力等の育成 (3) 学びに向かう力、人間性等の涵養						知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期 22	◎歌声のひびきを感じ取ろう(6) ○いいことありそう ○●歌のじ ○まきばの朝 (共)	(1) 曲想と音色、旋律、音の重なり、音階、調、などとの関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付ける。 (2) 曲想と旋律、歌詞の内容などとの関わりについて考え、それらに合った表現の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌声に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現する活動に取り組み、歌声による表現や旋律が重なり合う響きに親しむ。			ア イ ウ(7) (4) (9)	ア イ(4) ウ(7) (4)		ア★音色、旋律、音の重なり、音階、調、 イ 付点8分音符、16分音符	①曲想と旋律、歌詞の内容、音の重なりなどとの関わりについて気付いている。 ②楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ③思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見たり、音色や響きに気を付けたりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 ④思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。	①旋律、ハ長調の音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴や歌詞の内容を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ②音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	①歌声による表現や旋律が重なり合う響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	◎いろいろな音のひびきを感じ取ろう(5) ♪『動物の謝肉祭』から 耳の長い登場人物 ♪ハウスミュージック □新聞紙の音楽づくり	(1) 曲想と音色と強弱などとの関わりや、新聞紙の音の響きとそれらが生み出すよさや面白さとの関わりについて気付くとともに、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 身の回りの物を音素材とした拍のない音楽の面白さを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たりする。 (3) 身の回りの物で表現される音色に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴いたりつくったりする活動に取り組み、いろいろな音の響きに親しむ。					ア(7) イ(7) ウ(7)	ア イ ☆呼びかけとこたえ	①曲想と音色や強弱との関わりについて気付いている。 ②新聞紙で表現する音の響きについて、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ③発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。	①音色や強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、拍のない音楽のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 ②音色や強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。	①新聞紙など身の回りの物で表現する音の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくり・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	◎いろいろなリズムを感じ取ろう(7) ○風のメロディー ○●いろんな木の実 □リズムアンサンブル	(1) 曲想とリズムや拍などとの関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 (2) リズム、拍、反復、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかや、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。 (3) リズムや拍に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現活動に取り組み、リズムの特徴を生かした音楽に親しむ。			ア イ ウ(4)	ア イ(7) ウ(7)	ア(4) イ(4) ウ(4)	ア★音色、リズム、音の重なり、拍、 ☆反復、 音楽の縦と横との関係 イ 8分の6拍子、メッツピアノ、メッツフォルテ、フォルテ、クレシエンド、デクレシエンド、くり返し記号	①曲想とリズムや拍の特徴との関わりについて気付く、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ②思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③リズムパターンのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ④思いや意図に合った表現をするために必要な、反復や音楽の縦と横との関係を用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。	①リズムや拍の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ②打楽器の音色やリズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように打楽器を演奏するかについて思いや意図をもっている。 ③音色やリズムの特徴、反復、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムをつなげたり重ねたりすることを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	①リズムやその組合せに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽及び音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。

<p>◎日本の音楽でつながろう(4)</p> <p>○さくらさくら(共)</p> <p>♪こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」より</p> <p>♪津軽じょんから節 ていんさぐぬ花</p> <p>●ことをひいてみよう</p>	<p>(1) 曲想と日本の楽器の音色、旋律、音階などとの関わり気付くとともに、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 日本の楽器の音色や旋律の特徴のよさを見いだして曲全体を味わって聴いたり、旋律の特徴を生かした歌い方や音色や響きを生かした演奏の仕方について思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 日本の楽器の音色や旋律に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現活動に取り組み、日本の音楽に親しむ。</p>	ア イ ウ(イ)	ア イ(イ) ウ(イ)		ア イ	ア★音色、旋律、音階	<p>① 曲想と日本の楽器の音色や旋律との関わりや、箏の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。</p> <p>② 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③ 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて箏を演奏する技能を身に付けて演奏している。</p>	<p>① 音色、旋律、音階を聴き取り、それらが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の楽器の音色や旋律が生み出す曲や演奏のよさを見いだしながら、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>② 旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③ 日本の楽器の音色や旋律、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音色や響きに気を付けて、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 日本の楽器の音色や旋律に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>2 ◎せんりつのとくちょうを感じ取ろう(8)</p> <p>♪『動物の謝肉祭』から堂々たるライオンの行進</p> <p>白鳥 水族館</p> <p>ろば カンガルー</p> <p>めんどりとおんどり</p> <p>●陽気な船長</p> <p>○とんび(共)</p>	<p>(1) 曲想と音色や旋律などとの関わり気付くとともに、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり、音色や旋律の特徴を生かした表現の仕方について思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 曲想と音色や旋律との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴いたり表現したりする活動に取り組み、旋律の特徴を生かした音楽に親しむ。</p>	ア イ ウ(イ)	ア イ(ア) ウ(ア) (イ)		ア イ	ア★音色、速度、旋律、強弱 ☆呼びかけとこたえ イ スタックカート、ピアノ	<p>① 曲想と音色や旋律などとの関わりについて気付いている。</p> <p>② 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>③ 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>① 音色、速度、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>② 旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③ 旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 曲想と音色や旋律などとの関わりについて考えたり、曲のよさを見いだして伝え合ったりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>◎せんりつのもじを感じ取ろう(7)</p> <p>○パレードホッパー</p> <p>●オーラリー</p> <p>○もみじ(共)</p> <p>♪ファランドール</p>	<p>(1) 曲想と旋律や音の重なりなどとの関わり気付くとともに、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 曲の特徴を捉える学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴いたり表現したりする活動に取り組み、旋律の重なり親しむ。</p>	ア イ ウ(イ) (イ)	ア イ(ア) (イ) ウ(イ) (イ)		ア イ	ア★音色、旋律、音の重なり ☆音楽の縦と横との関係	<p>① 曲想と旋律や音の重なりとの関わりについて気付いている。</p> <p>② 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌ったり、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったりする技能を身に付けている。</p> <p>③ リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。</p> <p>④ 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏したり、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏したりする技能を身に付けている。</p>	<p>① 旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>② 曲想と音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律の特徴や重なりを捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。</p> <p>③ 旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律の重なり方や歌詞の内容を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 旋律や音を重ねて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

<p>◎動物の音楽をつくろう（7）</p> <p>♪『動物の謝肉祭』から 象 亀 鳥 森の奥に住むかっこう □動物の音楽づくり</p>	<p>(1) 曲想と音色や速度、旋律との関わりや、いろいろな音の響きやそれらの組合せが生み出すよさや面白さに気付くとともに、反復や呼びかけとこたえを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色や速度、旋律が生み出す曲や演奏のよさや面白さを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり、音色や音のつなげ方の特徴を生かした表現を工夫し、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 曲想と音色や速度との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴いたり、つくったりする活動に取り組み、音の響きやその組合せを生かした音楽に親しむ。</p>			<p>ア(7) イ(7) ウ(7)</p>	<p>ア イ</p>	<p>ア★音色、速度、旋律、 ☆反復、呼びかけとこたえ</p>	<p>①曲想と音色や速度、旋律との関わりについて気付いている。</p> <p>②簡易打楽器や身の回りにある音素材で表現する音の響きと組合せ、つなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。</p> <p>③思いや意図に合った表現をするために必要な、反復や呼びかけとこたえを用いて音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p>	<p>①音色や速度、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>②音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。</p>	<p>①動物から想起するイメージと、音色や速度、旋律との関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴いたりつくったりする学習活動に取り組みもうとしている。</p>
<p>3 学 期 16</p> <p>◎組曲を楽しもう（4）</p> <p>♪『動物の謝肉祭』から 終曲 □動物の音楽の終曲づくり</p>	<p>(1) 曲想と音色、旋律の反復、変化による音楽の構造との関わりについて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 『終曲』のよさを見いだし曲全体を味わったり、自分たちがつくった組曲の最終曲を構成してつくことに思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 曲想と音色、旋律、反復、変化などとの関わりに興味をもち、主体的・協働的に聴いたりつくったりする活動に取り組み、組曲に親しむ。</p>			<p>ア(4) イ(4) ウ(4)</p>	<p>ア イ</p>	<p>ア★音色、旋律 ☆反復、変化</p>	<p>①曲想と音色、旋律の反復、変化による音楽の構造との関わりについて気付いている。</p> <p>②音のつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さに関わらせて気付いている。</p> <p>③思いや意図に合った表現をするために必要な、反復や変化を用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p>	<p>①音色、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、組曲の最後に演奏される『終曲』のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>②音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①曲想と音色、旋律、反復、変化などとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴いたりつくったりする学習活動に取り組みもうとしている。</p>
<p>◎ちいきに伝わる音楽に親しもう （3）</p> <p>♪こきりこ ♪太鼓ばやし</p>	<p>(1) 曲想と日本の民謡の歌声や楽器の音色、旋律との関わり気付く。</p> <p>(2) 音色や旋律が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら、日本の民謡を味わって聴く。</p> <p>(3) 日本の民謡の音色や旋律に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴いたり調べたりする活動に取り組み、地域に伝わる音楽に親しむ。</p>				<p>ア イ</p>	<p>ア★音色、旋律</p>	<p>①曲想と歌声や楽器の音色、旋律との関わりについて気付いている。</p>	<p>①音色や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、日本の民謡や地域に伝わる音楽を味わって聴いている。</p>	<p>①日本の民謡や地域に伝わる音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みもうとしている。</p>
<p>◎曲の気分を感じ取ろう（9）</p> <p>○赤いやねの家 ●ジッパディードウーダー ♪山の魔王の宮殿にて ○国歌「君が代」</p>	<p>(1) 曲想と速度、旋律、強弱との関わりなどについて気付くとともに、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 速度、旋律、強弱、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし曲全体を味わって聴いたり、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 曲の特徴を捉える学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴いたり表現したりする学習活動に取り組み、曲想とその変化を生かした音楽に親しむ。</p>	<p>ア イ ウ(4) (4)</p>	<p>ア(7) イ(4) ウ(7) (4) (4)</p>	<p>ア イ</p>	<p>ア★音色、速度、旋律、強弱 音の重なり ☆反復</p>	<p>・曲想と旋律の特徴、歌詞の内容との関わり気付く。 ・音色や旋律、音の重なり、強弱が生み出す面白さを感じ取りながら歌ったり演奏したりする。 ・曲想やその変化と、速度や強弱、旋律、反復との関わり気付く、味わって聴く。 ・旋律の特徴を捉え、自然で無理のない歌い方で声を合わせて歌う。</p>	<p>①曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付いている。</p> <p>②思いや意図に合った表現をするために必要な、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、互いの歌声を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③思いや意図に合った表現をするために必要な、節奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能や、音色や響きに気を付けてリコーダーや鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>⑤曲想やその変化と、速度や強弱などとの関わりについて気付いている。</p>	<p>①曲想と旋律の特徴、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②音色、音の重なり、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③速度や強弱、旋律の反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>①曲想を生かした表現を工夫したり、曲のよさを見いだし聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽及び鑑賞の学習活動に取り組みもうとしている。</p>

※『動物の謝肉祭』の中の『ピアニスト』『化石』は常時活動で学習する。曲想と音色・速度・強弱などとの関わりについて気付いたり、表現のよさや面白さを見いだし曲を味わって聴いたりする。